

5人の多彩な30点

日向コバルト絵画教室展始まる

日向市富高在住の画家三谷文夫さん(73)が主宰するコバルト絵画教室の作品展が、同所の画廊ジヴェルニーで始まった。30日まで。開場は午前10時～午後5時。

三谷さん個人の作品展は過去にも同画廊で開催していたが、教室生の作品展は今回が初めてという。

展示しているのは、小学2年生から一般までの教室生4人と三谷さんの作品合わせて30点。作品は色紙などの小品からF60号の大作まで、油絵、クレパス画、水彩画などさまざま。題材も風景、人物、花、静物など、それぞれが思い思いに描いている。

出品した財光寺南小2年の日高ゆりなさんは「一番好きなのはカタツムリの絵。葉っぱを頑張って描いた」、富島中1年の海野絵翔さんは「小さい頃から絵を描くのが好きだった。楽しんで絵を描いている」と話した。

三谷さんは、2人の

作品について、「ゆりなさんは大人の考えが及ばない色使いなど、自由に描く。私の方

が勉強になる。絵翔さんの作品はみんな繊細で、絵で自分を表現できている」と語り、今後の飛躍にエールを送るとともに多くの観覧を呼び掛けた。



画廊ジヴェルニーで始まったコバルト絵画教室展と出品者ら